

報道関係者 各位
ニュースリリース

2022年1月5日
五洋建設株式会社
鹿島建設株式会社
寄神建設株式会社

SEP型多目的起重機船 CP-16001（1,600t吊）の進水式について

五洋建設株式会社（社長 清水琢三）、鹿島建設株式会社（社長 天野裕正）、寄神建設株式会社（社長 寄神正文）の3社は、2021年12月22日、共同で建造中の1,600t吊クレーンを搭載したSEP型多目的起重機船CP-16001（以下、SEP船）の進水式を行いました。

進水式は、建造が行われているPaxOcean Engineering社（シンガポール）のインドネシアのパタム島にあるGraha造船所で行われ、関係各社とオンラインで中継されました。

建造契約は2020年1月30日、10月30日に造船所で起工とコロナ禍での建造となりましたが、関係者の尽力により進捗率は86%と計画通り順調に建造が進んでいます。今後はクレーンの設置などを進め、2022年9月の完成・引き渡し後、習熟訓練などを経て、2023年4月の稼働開始を目指しています。

本SEP船は、全長120m、全幅45m、最大搭載人員100人で、洋上風車及びその基礎構造の大型化に対応して1,600t吊全回転式クレーンを搭載し、10～14MWクラスの洋上風力発電施設を効率的に建設することができます。基本設計は世界のSEP船の7割以上を手掛けるGustoMSC社（オランダ）が、主クレーンはオフショアクレーンのトップメーカーであるHuisman社（オランダ）のクレーンを搭載します。また本SEP船の保有・運営は、3社による共同出資会社「PKYマリン株式会社」が行います。

<建造スケジュール>

2020年 1月	建造契約
2021年 12月	進水
2022年 9月	完成・引渡し
2023年 4月	稼働開始予定

<参考：建造時のプレスリリース>

SEP型多目的起重機船（1,600t吊）の建造について（2019年11月20日）

<https://www.kajima.co.jp/news/press/201911/20c1-j.htm>



進水証書への署名（中央：五洋建設船舶機械部古田専門部長）



進水状況